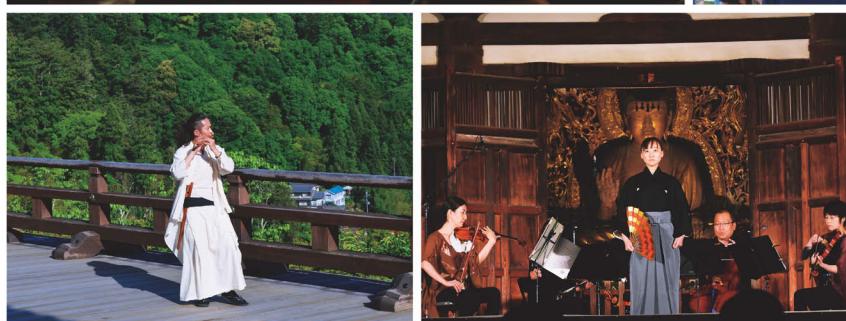


県のホームページでは、「こちら知事室です」で、定例記者会見のようすや県政の考え方を掲載しています。また、「奈良県フォトニュース」で県内のニュース等を写真と記事でお伝えしています。ぜひご覧ください。

ご来場ありがとうございました♪



5月7日～6月3日の期間中、東大寺大仏殿でのオープニングを皮切りに、奈良公園春日野園地でのファミリーコンサートまで、世界遺産の社寺や県内各地の132会場で300公演を開催し、12万5千人以上が来場しました。

今回は、世界的音楽ディレクターのルネ・マルタンがプロデュースする「コンサート『ヴィア・エテルナ 奈良～永遠の道～』」を開催したほか、5月21日～26日に県中南部東部地域で「コンサートを集中して開催。県営馬見丘陵公園で初めてムジーク・プラツツを行うなど、県内各地で盛り上がりました。

県立橿原考古学研究所創立80周年



法隆寺国際高校の演奏で始まった式典

原遺跡の発掘調査を契機に昭和13年(1938年)に設立されました。これまで、極彩色壁画が発見された高松塚古墳や33面の三角縁神獣鏡が出土した黒塚古墳などの調査を手がけてきました。また、銅鏡の計測に3D計測機器を、藤ノ木古墳の石棺内部の撮影に医療用ファイバーをスコープを使用するなど科学的手法を積極的に導入してきました。

橿考研が今年創立80周年を迎えることから、6月16日に記念式典を開催しました。式典には、中国・韓国・シリアなど国内外の考古学・文化財研究機関・博物館、大学関係者、県内社寺や経済界の代表など約360人が出席しました。

橿考研が歴史文化科の講義と発掘調査実習を担当する県立法隆寺国際高校吹奏楽部の演奏で始まり、荒井正吾奈良県知事や岩田国夫奈良県議会議長、森下豊橿原市長、崔鐘憲韓国国立文化財研究所長から祝辞がありました。

また、「奈良県立橿原考古学研究所創立80周年を祝う会」より事業支援の目録贈呈があり、菅谷文則所長が80年間を代表する遺跡の調査・研究を紹介しました。

原遺跡の発掘調査を契機に昭和13年(1938年)に設立されました。これまで、極彩色壁画が発見された高松塚古墳や33面の三角縁神獣鏡が出土した黒塚古墳などの調査を手がけてきました。また、銅鏡の計測に3D計測機器を、藤ノ木古墳の石棺内部の撮影に医療用ファイバーをスコープを使用するなど科学的手法を積極的に導入してきました。

橿考研が今年創立80周年を迎えることから、6月16日に記念式典を開催しました。式典には、中国・韓国・シリアなど国内外の考古学・文化財



橿原考古学研究所創立80周年を祝う会より
事業支援の目録が菅谷所長へ贈呈される

問 県立橿原考古学研究所 ☎0744-24-1101 FAX0744-24-6747



市町村長が一堂に会し意見交換

奈良県・市町村長サミットは、知事と市町村長が一堂に会し、県・市町村をとりまく行政課題について意見交換を行う場で、平成21年度から開催しています。

6月19日、本年度第1回の奈良県・市町村長サミットを県立万葉文化館で開催しました。

今回は、道路建設、河川改修、遊水地整備、まちづくり、農業振興、産業集積、森林管理といったプロジェクトを進めにあたって、円滑に土地を利用していることから、円滑に土地を利用していく

奈良県・市町村長サミットは、知事と市町村長が一堂に会し、県・市町村をとりまく行政課題について意見交換を行う場で、平成21年度から開催しています。

6月19日、本年度第1回の奈良県・市町村長サミットを県立万葉文化館で開催しました。

今回は、道路建設、河川改修、遊水地整備、まちづくり、農業振興、産業集積、森林管理といったプロジェクトを進めにあたって、円滑に土地を利用していることから、円滑に土地を利用していく

上での課題や、その解決策について意見を交換しました。

出席者からは、市町村が抱えて

いる課題や、具体的な解決策が提案されるなど、県土の有効活用に向けて議論を深めました。

このほか、県から「県・市町村の連携による発達障害者支援体制の整備強化」、「医療・介護の一体的取組についての今年度の取組と進捗状況等」、「幼児教育・保育の無償化」などの情報を提供し、共有しました。

今後も県と市町村とで積極的に意見交換を行い、連携して課題解決に向け取り組んでいきます。



サミットの総括をする荒井知事

問 県市町村振興課 ☎0742-27-9984 FAX0742-23-8439